

英語 授業づくり講座

in 香美市立大宮小学校

授業をアップデート！
生きて働く学びを創る！

東部管内の
講座情報



令和5年7月発行
東部教育事務所



第5学年 Unit 2 When is your birthday? 領域:聞くこと イ 話すこと[やり取り]イ 書くこと ア 小松 弥生 教諭 ALT Dwaine Simms

単元目標 お互いのことを知るために、相手の誕生日のことについて具体的な情報を聞き取ったり、自分の誕生日(月)などについて自分の考えや気持ちも含めて伝え合ったりすることができる。また、誕生日に関することについて、例文を参考に音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現について書き写すことができる。

教材研究会 4月27日

児童の言いたい・聞きたいを引き出すための単元計画になっているか

グループ協議より

児童の思考の深まりを促す問いと評価が仕組まれているか

- 2分の1成人式や総合的な学習の時間と関連付け、誕生に関する考えをもたせている。
- Small Talk で校内の教師が使わせたい表現を用いて、意図をもって話すようにしている。
- 友達や身近な人に伝えてはどうか。(ALTに誕生のことを伝えたいだろうか?)
- やり取りではなく、発表の方が児童の実態に適しているのではないか。
- 児童は過去形を使って言いたくなるのではないか。

- 共通の困り感、汎用性があると教師が捉えたものを中間指導で全体に共有する。
- 新しい表現にとらわれすぎず、既習表現を使って自分の思いを伝えられるよう、教師が問い続けることが大切である。
- 児童の会話例があれば、思考の深まりを促す発問が考えられる。

教材研究会を受けて

- ◆**過去形で言いたくなる**→Best present や NO.1 present 等の表現を使って、1番うれしかった誕生日プレゼントについて今の自分の気持ちを伝えるようにした。
- ◆**児童が伝える相手**→昨年度末から児童は「外国の人ともっと話したい」という思いをもっているため、相手はALTにした。
- ◆**やり取り**→CAN-DO リスト形式の学習到達目標を基に計画的にやり取りを設定している。Unit1とUnit2を通して、自分のことを知ってもらうためにやり取りを行い、聞き手は関連したことを問い返したり、感想を伝えたりする等聞き手を育てるようにした。
- ◆**児童の会話例**→各時間の発話例を作成し、各時間の児童の目指す姿を明確にした。



授業研究会 5月31日

単元計画

第1時	第2時	第3時	第4時	第5時(本時)	第6時
自分のことや誕生日についての Small Talk を聞く活動を通して、それについて教師や友達とやり取りすることができる。	自分のことや誕生日のことについて、教師・ALT や友達とやり取りすることを通して、 尋ねたり答えたり することができる。	自分のことや誕生日や誕生日に欲しいものなどを伝え合うために、教師・ALT や友達とやり取りすることを通して、その理由について 尋ねたり答えたり することができる。	誕生日のことなどについて自分の気持ちや考えを伝え合うために、校内外の先生達や友達とやり取りすることを通して、それについて 尋ねたり答えたり することができる。	誕生日のことなどについて自分の気持ちや考えを詳しく伝え合うために、ALT 役の友達とやり取りすることを通して、それについて 尋ねたり答えたり することができる。	香美市内のALTに自分のことをもっと知ってもらうために、誕生日のことなどについてやり取りすることを通して、それについて 詳しく尋ねたり答えたり することができる。

本時の目標

誕生日のことなどについて自分の気持ちや考えを詳しく伝え合うために、ALT 役の友達とやり取りすることを通して、それについて尋ねたり答えたりすることができる。

指導のポイント

英語で自分の気持ちを相手に伝える言語活動では、コミュニケーションの中で相手の話を聞いて意図を読み取ったり答えたりする技能統合の力がが必要です。児童が思考を深める、児童の気付きを促すといった問いを仕掛け、見方・考え方を働かせる授業を行いましょう。そのためには、教材研究で児童がどんな反応、発言をするかたくさん予想しておくことが重要です。目標、評価規準と照らし合わせながら、会話例等を作成しておきましょう。

本時の展開

Small Talk 校内の先生と担任とALTで、実際にもらった誕生日プレゼントを使ったやり取りを聞き、本時で使えるような表現を共有する。 	Activity 自分の情報を整理し友達と伝え合う。 	中間指導(適宜) 言えなかった表現を共有し、全体で考える。ALTに言い方を確認し、練習して言えるようにする。 	Activity 中間交流で出たことを基にもう1度伝え合う。 	振り返り 撮影した動画をみて自分の成長を実感する。
--	---	--	---	-------------------------------------

組織的な取組

Small Talkで校長先生や養護教諭が英語を使って自分のことを話したり、グループ協議で栄養教諭が司会をしたりするなど全教職員一丸となって研究を進めています。

文部科学省 初等中等教育局
直山 木綿子 視学官より

○目的・場面・状況の設定について

自分の誕生日プレゼントについて自慢したい気持ちをALT相手に、本当に伝えたいかどうか、もっと考える必要がある。

目的・場面・状況の設定にずれがあった。児童が自分の誕生日プレゼントについて伝えたい相手はどんな人か、心に響く本物の言葉の吟味が必要である。

○言いたい・聞きたいを引き出す仕掛けについて

子どもの内なる声が湧き上がってくるような仕掛けが重要である。例えば、「香美市内のALTが大宮小の子どもが素晴らしいという話を聞いて、大宮小の子どもに教えたいと言っている」から、「みんなの実力を見せてあげてよ」等、自分たちのことをALTによく知ってもらう必要性を作り出し、子どもに「言いたい!」と思わせる設定をしてほしい。



○本物の言葉を伝えるということについて

以前、my treasure (自分の宝物を紹介する)の授業を行った際に、自分にとっての宝物は何か、そしてそれを通じて生徒に伝えたいことは何かを考えた。両親が亡き姉の分まで強く生きてほしいという願いを込めて付けてくれた「木綿子」という名前が、この世に1つしかない大切な宝物だということを英語で伝えた。生徒に「自分に自信をもってほしい」という私の気持ちからである。

外国語教育のねらいは、英語というツールを使い、自分で思考する子どもを育てていくことである。言葉で説得したら世の中や相手が変わるという体験をさせ、言葉を通じて未来を創っていく子どもを育てていきたい。

参加者の声より

今日の学びを校内で共有したい。日々の授業実践においては、適切な目的・場面・状況の設定と、言語活動の質の向上と量の確保について見直し、児童が伝えたいことを自身の言葉で表現できるような授業づくりをしたい。



高知の魅力発信グローバル人材育成事業

11月15日(水) 小・中・高等学校合同授業研究会 大宮小・香北中・山田高校

講師: 敬愛大学 向後 秀明 教授

12月23日(土) Discover Kochi Project ポスターセッション

◆当日の様子など各校の取組を動画にて発信 大宮小・香北中・山田高校

日章小・香南中・岡豊高校・清水小・清水中・清水高校・義務教育学校土佐山学舎・高知商業高校

教職員研修管理
システムから
申し込み
できます。



授業づくり講座からの学びを生かして各校で取り組んでほしいこと

- ・各時間の目指す姿(会話例)を具体にしておくこと
- ・児童の気付きを促す教師の発問を具体にしておくこと

